

「ともに支え合うまちプラン(第2期日野市地域福祉計画)」の策定にあたって



日野市では、「ともに支え合い 安全に安心して暮らせるまち 日野」をめざし、平成17年に「ともに支え合うまちプラン(日野市地域福祉総合計画)」を策定し、市民・福祉関係団体・事業者・行政が協働、連携して、地域福祉の推進に取り組んできました。

しかしながら、福祉サービス利用制度の変化や規制緩和など、福祉を取り巻く状況は大きく変化し、自分たちの福祉は自分たちで考え、行動する時代へと変わりつつあります。

また、地域においては、ひとり暮らし高齢者や孤立した子育て家庭の増加などに伴い、介護や子育てをはじめとした様々な課題が浮き彫りとなる一方で、地域が本来持っていた「支え合い」や「つながり」が希薄になってきております。

こうした社会状況の変化を念頭に置きつつ、また、前期計画に対する評価・反省を踏まえ、地域における新たな課題に対応した施策を推進し、ともに支え合う地域づくりを実践するために、「ともに支え合うまちプラン(第2期日野市地域福祉計画)」を策定しました。この計画は、平成22年度から5年間の地域福祉の基本的な方向性を定めたもので、理論に加えて、アクションプラン的な面が強くなっています。

地域社会に暮らす人がお互いに支え合うためには、様々な主体の参加・協働が不可欠です。特に本年は、市政運営のテーマを『「公民協働」～まちの将来を見据えて』とし、権利を行使するとともに義務も果たす、まさに公の民である皆様と協力し合って市政を進めたいと思います。具体的には、次の2点に要約できます。

- ①市民の皆様が自ら課題に取り組むことで、身近な地域の「支え合い」や「つながり」を活性化すること。
- ②一人ひとりの市民や福祉関係団体・事業者と行政との協働による取り組みや実践を通して、計画の内容をさらに、実りあるものにする。

結びに、本計画の策定にあたり多大なご尽力をいただきました日野市地域福祉計画策定委員会委員の皆様をはじめ、パブリック・コメントやヒアリング調査等を通じて貴重なご意見・ご提案をいただきました多くの市民の皆様や関係団体の皆様にご心よりお礼申し上げます。

平成22年(2010年)4月

日野市長 **馬場弘融**